

審判員の手引き(第19回全国中学選抜卓球大会)【相互審判用】

	主 審	主審 ジェスチャー	副 審	副審 ジェスチャー
レ ット	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットコードサービス(ネットイン) 「レット」 ・ボールの侵入インプレイ中 「レット」ラリー間「ストップ」宣告 ・汗がボールに付着しリターンでき なかった場合 ・プレー中にボールが破損した場合 		<ul style="list-style-type: none"> ・ジェスチャーのみ(ネットイン) ・「ストップ」宣告(ボールの侵入) 	
エ ッジ ・ サイ ド	<ul style="list-style-type: none"> ・主審側のサイドライン、エンドライ ンを判定 ・エッジ判定→ニュースコア宣告 ・サイド判定→ニュースコア宣告 		<ul style="list-style-type: none"> ・副審側のサイドラインを判定 ・エッジの判定(ジェスチャー) ・サイドの判定(ジェスチャー) 	
タ イ ム ア ウ ト	<ul style="list-style-type: none"> ・ラリーとラリーの間のみ要求可能 ・「タイムアウト」宣告 ・要求した側にホワイトカードを 頭上高く挙げる ・ストップウオッチ1分計測 ・対戦記録用紙の要求側の 「T」を○で囲む ・「タイム」を宣告し競技再開 		<ul style="list-style-type: none"> ・ストップウオッチ中断 ・要求側テーブルにホワイトカード を置き、そのテーブル側に立つ ・ホワイトカードを取り去る ・ストップウオッチ再測 タイムマーカ表示 	
促 進 ル ー ル	<ul style="list-style-type: none"> ・インプレイ中「レット」 ラリー間「ストップ」 ・ストロークカウンターの要請 ・レシーバーが13回の返球に 成功したら「ストップ」 →ニュースコア宣告 ・以降マッチ終了まで促進 		<ul style="list-style-type: none"> ・ポイントの合計が18ポイント未満 10分経過した時「タイム」 ・コート主任→審判主任へ 	
サ ー ビ ス	<ul style="list-style-type: none"> ・1回目「レット」疑わしい時 (明らかな違反サーブはフォールト) ・2回目以降「フォールト」 →ニュースコア宣告 		<ul style="list-style-type: none"> ・1回目「ストップ」 ・2回目以降「フォールト」 	
マ バ ッ ド	<ul style="list-style-type: none"> ・イエローカード ・2回目以降イエロー・レッドカード 		<ul style="list-style-type: none"> ・イエローマーカ表示 ・イエロー・レッドマーカ表示 	

【違反サーブについて】

- トスが16センチ以上上がっていない。
- ボールの上昇中を打球する。(ぶっつけサーブ)
- 指でボールを押さえたり、はさんだりしてトスをする。(ボールが転がる状態ではない・オープンハンドではな
- 静止しないでサービスをする。
- ボールが垂直に投げ上げられていない。
- ボールが手のひらから離れた後、すぐにフリーアームをボールとネットを結ぶ空間から外に出していない。
- 身体の一部でボールを隠す。
- ボールが台上より下がる
- ボールがエンドラインより中に入る